

[異常時通報連絡の公表文（様式 1-2）]

伊方発電所から通報連絡のあった異常について
(令和 4 年 12 月分)

R 5 . 1 . 10

原子力安全対策推進監
電話番号 089-912-2352

1 令和 4 年 12 月に、安全協定に基づき四国電力(株)から県へ通報連絡があった異常は次のとおりですので、お知らせします。

| 県の公表区分 | 異常事項 | 発生年月日 | 概要 | 管理区域該当 | 国への報告 | 備考 |
|--------|------------------------------|---------|---|--------|-------|------|
| A | 作業員の救急搬送 (共用) | 4.12.21 | 伊方発電所構内の作業において、作業員 1 名が体調不良を訴えた。 意識の有無：有 計画外被ばくの有無：無 汚染の有無：無 このため、当該作業員は救急車にて病院に搬送することとし、市立八幡浜総合病院に出発した。 | 外 | × | 速報済 |
| C | ルースパーツモニタ装置の異常信号の発信 (3号機) | 4.12.26 | 伊方発電所 3 号機は通常運転中のところ、中央制御室に「ルースパーツモニタ装置※」の異常を示す信号が発信した。 本事象によるプラントへの影響及び環境への放射能の影響はない。 調査の結果、ルースパーツモニタ盤内の装置間に通信の不具合があったことを確認した。 その後、ルースパーツモニタ盤内の装置を再起動し、ルースパーツモニタ装置の機能に異常がないことを確認し、通常状態に復旧した。 ※ルースパーツモニタ装置 1 次冷却材系統内にルースパーツ（機器や装置の部品が脱落したもの）が発生した場合、1 次冷却材系統を構成する配管内壁等に衝突する際の振動を検知する装置。 今回の事象はルースパーツモニタ盤内の装置間に通信の不具合が発生したものであり、1 次冷却材系統内のルースパーツによる異常な振動を検知したものではない。 | 外 | × | 今回公表 |

2 外部への放射能漏れや周辺環境放射線への影響はありませんでした。